様式第8号の4(第7条関係)

第　　 　号

年　　月　　日

出雲市教育委員会　様

出雲市立　　　　　学校長

氏　　　名

日本語の能力に応じた特別の指導のための特別の教育課程に関する届出書

下記のとおり日本語指導が必要な児童（生徒）に対し、特別の教育課程を編成したので届けます。

記

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 学年 | 児童生徒氏名 | | 使用言語 | 指導内容 | | | | | | | 週指導時間 | 指導形態 | 備考 |
| ステージ | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | その他 | 指導期間 | |
|  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  | | | 〇ステージについて（JSL評価参照枠より）  ６：教科内容と関連したトピックについて理解し、積極的に授業に参加できる  ５：教科内容と関連したトピックについて理解し、授業にある程度の支援を得て参加できる  ４：日常的なトピックについて理解し、学級活動にある程度参加できる  ３：支援を得て、日常的なトピックについて理解し、学級活動にも部分的にある程度参加できる  ２：支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む  １：学校生活に必要な日本語の習得がはじまる  〇指導内容について  ①サバイバル日本語　　②日本語基礎　　③技能別日本語　　④日本語と教科の統合学習　　⑤教科の補習  〇指導形態について  「取り出し（個人）」「取り出し（グループ）」「巡回指導」等を記載。その後に週当たりの時数を記載。  例：週４時間の「取り出し（個人）」している場合　→　「4」「 取り出し（個人）」  〇指導期間  「特別の教育課程」による指導を開始した期日を記載。　例：H30．４～ | | | | | | | | | | | |